

WEEKLY BULLETIN

会報 2016-2017

3月23日(木) 第34号
第2827回例会
第2510地区

●本日のロータリーソング 奉仕の理想

Rotary



新会員卓話 札幌東ロータリークラブ

本日のプログラム

軽種馬生産とJRAの競馬

札幌競馬場 場長 小玉 剛資 氏

■高橋 多華夫 会員

北海道電力で札幌支店長をしております高橋多華夫です。昨年3月17日に入会し1年経ちました。泊の原子力発電所の長期停止により、2度の料金値上げから全道の事業所でロータリーを辞めざるを得ない状況となりました。しかし、地域への貢献(奉仕)なくして事業の存続はありえないとのトップ判断から、ロータリーに入会をさせていただいているところです。私の紹介者は野村会員であります。



私は昭和31年生まれ、親が樺太からの引き上げで札幌の月寒に移り住んだ事から高校まで月寒に住んでおりました。大学は東京の八王子に4年行きましたが、中学、高校、大学と学業よりもバスケットをやっていたという方が正しいと思っています。その縁で北海道電力に入りました。昭和55年から大学、高校の有望選手を年2名程度採用していた時、バスケットの顧問にトントン拍子で採用され、30歳までバスケットをやっておりました。

会社での経歴は入社後、札幌の営業所勤務でメータを測る検針の業務をしていました。バスケットをやめてから広報へ異動し、その後営業部で組織などの担当をしておりました。平成8年、39歳の時に摩周湖にある弟子屈営業所の所長ということで地方勤務となりました。ここで弟子屈ロータリークラブに入会し、2年半活動しました。その後、苫小牧支店の総務課長、本店営業部の課長、東京の法人担当の部長、札幌支店の営業部長、本店の総務部長、東京支社長、営業部長、そして札幌支店長と総務、営業と何屋なのかかわからないですが、社内では色々な経験をしました。

札幌支店は全道の4割の電気を販売している支店です。昨年4月より、電気の小売全面自由化が始まり、某ガス会社など今熾烈な競争を強いられています。しかし電気をお届けする設備は当社になりますので、停電のない安定した電気をお届けするのは当社しかありません。電気はやっぱり「ほくでん」、引き続きご愛顧のほどお願いして卓話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

マン
スリー
メ
モ

【ロータリーにおける社会奉仕とは】
ロータリアン個人が、日々の生活・仕事を通して、地域住民の生活の質を高める奉仕活動をする事である。各クラブは、社会奉仕活動を企画開発し、会員に奉仕の機会を与えなければならない。

■佐々木 裕 会員

(株)佐々木工業の代表取締役の佐々木裕です。昭和54年4月6日、佐々木家の次男として生まれました。家族構成は嫁、中学1年生、2歳の男の子と4人家族です。幼少期レングと玉ねぎの町、江別市で育ちました。母の話では2歳の時に次男裕・失踪事件! 自宅から一人で抜け出し三輪車で逃走。1キロ離れた生協へ。その二階のゲームセンターで楽しそうに遊んでいたそうです。小学生で引越、4人家族にはとても狭い家で風呂なし、水洗トイレなし。そしてご飯はいつも卵かけご飯でした。



中学生になり、小遣いの無い僕は新聞屋さんの朝刊配達の仕事しながらサッカー部の副キャプテンでした。そして高校生となり、イトーヨーカドー・スタンドマン・荷物の仕分け等掛け持ちのアルバイト。その理由は免許取得、そして車を買う! コツコツと楽しみながら努力するとやりたいことは叶うと思いました。さらに尊敬できる方と出会い、学び・驚き・感動といった事も沢山経験しました。

卒業後、新卒として建具の工場に勤務しましたが退職。札幌の防水屋さんに19歳で入社し、見るもの・聞くもの・身体を動かすことが毎日変わる会社で色々な技法を習得しました。気づけば10年経ち1級の資格も取り、上司に「独立してみようかな!」と話してみたら「応援するよ。」と言われ、会社を設立しました。佐々木工業2.2万のアパートからスタートし、独立して三カ月で防水工は一人では会社にならないと気づき、翌年に従業員を4人雇いました。三カ月たった頃、資金繰りを計算すると金額が合わないのです。ここからが自転車操業の始まりです。思い付く限り物事を細かく計算し、余った少しの材料も残し、解消できることを従業員と死ぬ気でやったのを覚えています。その甲斐あって何とか解消し、忘年会はニセコのコテージを2つ借りてみんなで鍋をつついたのは楽しい思い出です。9年目を迎え、今年から仙台・福岡と仕事の範囲も広がり出張も多くなりました。

沢山のお客様や従業員・家族の力があってこそこの佐々木工業です。諸先輩の経験には及びませんがこの場を借りて感謝します。